



講師

国文学研究資料館教授・副館長  
かんさくけんいち  
神作 研一

Zoom  
開催

申込締切延長しました

## 筆跡の〈ちから〉—真淵の珍短—

「珍短」とは伝存の極めて珍しい短冊のこと。現行の国語辞典類には立項されていませんが、大正末期に刊行された短冊雑誌に散見する言葉です。江戸時代だと賀茂真淵、明治以降だと森鷗外・石川啄木・樋口一葉の短冊がまず挙げられましょう。このミニ講演では、真淵の珍短とともに短冊の魅力を紹介し、筆跡の持つ〈ちから〉を考えてみます。



講師

都留文科大学・非常勤講師  
ふじしまあや  
藤島 綾

## 賀茂真淵と伊勢物語絵

江戸時代の人々は、絵入り本をはじめ、さまざまな媒体をとおして多様な『伊勢物語』に接していました。注釈書『伊勢物語古意』の執筆で知られる賀茂真淵ですが、彼はまた、伊勢物語絵の制作にもかかわっていたようです。そのことを伝える資料をとりあげ、真淵が絵に表現しようとした物語世界を考えます。



講師

中京大学・准教授  
なかがわ たか  
中川 豊

## 「真淵の書簡、真淵をかたる書簡」

栗田土満 (1737-1811) 宛賀茂真淵書簡の中には3通の同じ書簡があります。内容を解説しつつ、相互の関連性や成立過程をお話しします。また、兵頭守敬 (1709-1757) 宛谷川土清 (1709-1776) 書簡を取り上げます。真淵著『百人一首古説』への評価や真淵の存在を気に掛ける土清の様相から土清の真淵への意識へと踏み込みます。

# 賀茂真淵セミナー

令和3年度(2021年度) 賀茂真淵記念館 国文学研究資料館

50th 国文学研究資料館創立50周年記念事業

開催 令和3年(2021年)9月23日(祝・木) 14:00~17:00

申込 9月16日(木)17時までに以下のQRコードから 先着70名迄

主催：国文学研究資料館  
共催：浜松市  
一般社団法人浜松史蹟調査顕彰会  
お問合せ：bunko.seminar@nijl.ac.jp

お申し込み  
はこちら



※こちらのURLからも申込できます <https://forms.gle/9caiHaz7qbc4tEfz5>